



みさき 議会だより



第109号 平成29(2017)年 10月号

主な内容

- 決算審査特別委員会・議案の賛否・陳情の審査・・・2～3
- 常任委員会で慎重審査・・・・・・・・・・・・・・・・・・4～5
- 議員6人が一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
- 町民登壇・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

元気ハツラツ！
(三朝町老人クラブ連合会運動会)

9月
定例議会

一般会計決算

審査特別委員会報告

多目的駐車場の活用策について、もっとイベント等に活用すべきではないか。

駐車をしていただくためにPRと共に、昨年度から特産・物産市を月に1回は始めています。旅館や商店において回数券を購入し、利用者への優遇措置を図られるような事も出てきました。当面、駐車場を整備し、利用していきませんが、時代に合った効果のあるものを考えて行かなければいけない、と思っています。岡山大学の熱気浴施設と関連した形での検討もしたい。



多目的駐車場

元気な三朝温泉発信事業補助金（中部地震対策）の実施効果はどうであったか。

バスは期間中20便のチャーター運行で、1日1往復大阪便です。地震直後から宿泊のキャンセルが相次ぎました。前年同月比で、宿泊数が10月は73%に落ち込みましたが、事業の展開により11月は82%、

12月は99%に回復してきました。その部分が実績と思っています。現時点では、地震前の95%になっていますので、今後も状況により支援をしていきたいと思っています。

キラリと光る町づくり支援交付金について、もっと活用しやすくしてはどうか。

基準は、元気な地域づくりのために取り組む事業という位置付けで事業展開をしています。対象は、地域づくりに意欲がある町民、町民で構成する団体、町内の集落・企業等となっていますが、新規性を求めるもので、年に1回です。数年前からハード的に地域の魅力を整備される場合は、補助率を通常の3分の2から5分の4に上げています。

昨年度は、新規性を求めるのではなく、地域協議会枠を設けて、事業検証しながら3年間を限度に継続事業できる形にしました。地域協議会については、年に2回対象としています。これからもみなさんに使っていただきやすい、効果がある制度として運用していきたいと思っています。

世界遺産登録推進費について、世界遺産を目指すならもっと積極的に事業展開すべき。

世界遺産登録については、県と一緒に世界遺産推進協議会を立ち上げ、県の観光担当・文化財担当・町それぞれ活動を行っています。まだまだ不十分ですが、引き続き継続的に続けていきたい。普遍的価値については、日本遺産がいい契機になって、世界に発信して

いろんな方に来ていただき、いろんな視点で三徳山を再評価していただき、外からの意見を伺いながら、基礎調査と相まって東アジアにおける三徳山の位置づけ、そういうものを世界に発信できたらと思っています。

【議案に対する賛否】

議案番号	議案名	議員名（議席順）											結果
		石田 恭二	吉田 道明	池田 雅俊	能見 貞明	中信 貴美代	山口 博	清水 成眞	藤井 克孝	平井 満博	山田 道治	牧田 武文	
町長提出議案名													
	(9月定例会)												
58	平成29年度三朝町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
59	平成29年度三朝町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
60	平成29年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
61	平成29年度三朝町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
62	平成29年度三朝町水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
63	平成28年度三朝町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
64 } 74	平成28年度三朝町特別会計歳入歳出決算の認定について（11件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
75	三朝町公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
76	三朝町介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
77	三朝町過疎地域自立促進計画の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
78	損害賠償に係る和解について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
79	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
諮問1	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任

※○は議案に対する賛成、●は反対等であることを意味しています。

※福田茂樹議長を除く11名の賛否状況です。

【陳情】 9月定例会の陳情に対する審査結果です。

件名	提出者	審査結果	審査意見
受動喫煙防止条例の制定に関する陳情	鳥取県中部医師会	趣旨採択	本町は多くの観光客が集う場所であり、条例制定には条件等、慎重な検討を要する。
「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情	全国森林環境税創設促進議員連盟	採択 意見書提出	森林・林業・山村対策の抜本的強化をはかるために全国森林環境税の早期導入は必要である。
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2018年度政府予算に係る意見書採択を求める陳情	鳥取県教職員組合 中部支部	採択 意見書提出	教職員の多忙感が、児童・生徒に与える心的・物理的影響は計り知れない。教育のもたらす未来志向を国が保障することは当然のこと。

その他の審査項目

- ・国保の基金が減少している。これで町民の健康が守れるのか。
- ・新水源は必要だと思うが、過去の水源調査の投資はどう考えているのか。
- ・日本遺産魅力発信事業等は観光客の増加につながっているか。

常任委員会で 慎重審査

委員会における主な質疑

総務教育常任委員会

会計課

(委員) 財産調書に物品があるが、この他の備品はどうなっているか。

(回答) 財務課の管財室で備品のシステムがありますので、そちらで管理している。

総務課

(委員) 自治振興交付金について、世帯数割があるが、世帯によっては2人世帯主がいる場合もある。そういった場合のカウントはどうなっているか。

(回答) 区長配布文書の件数でカウントしており、単価の積算についてもそのことを念頭においたもの。従って登録の世帯数とは異なったものになります。

財務課

(委員) 町債の償還額が少ない気がする。平成27年度末と28年度末の残高の差は1千9百万円。なかなか返済できないのではないか。

(回答) 過疎債の本格的な元金償

還が平成29年度から始まり、償還額も増えていく状況で毎年数千万単位で増加する見込みです。

(委員) e-misasa エリアネットワークの積立金が1千3百万円程しかないが、何かあった場合は基金のみで対応できるのか。

(回答) 三朝町の設備は幹線は光ファイバーケーブル、末端はメタルケーブルです。メタルケーブルにはアンプが必要で、これには耐用年数があり、更新期を迎えようとしています。このような費用が今後掛かってくるので維持費だけでも不足すると思われます。今後の更新計画も含め事業計画を検討したい。

(委員) プランナールが指定管理になり、経費もかなり削減されているようだが、経費が減るとことはサービスが低下したと取れるがどうか。

(回答) そういうことではないと考えている。これまで、安売りで利益率の低いものや固定

経費の掛かるものを見直したり止めていき、新しい企画を練っているようです。

子育て健康課

(委員) 学童クラブの利用料が県内でも高いと言われる。減額する考えはないか。

(回答) そういった意見は聞いている。現在も減免制度等あるが、引き続き検討したい。

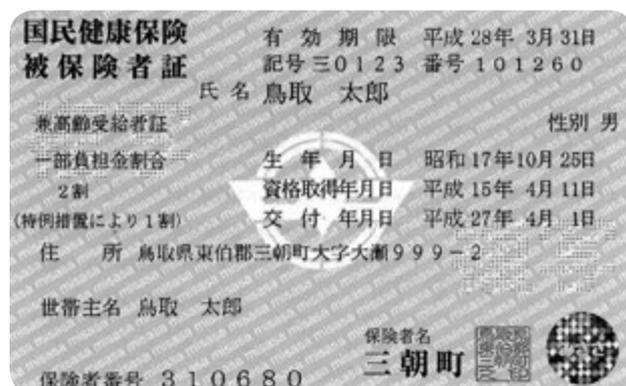
(委員) 国保が都道府県単位になるが保険税はどのようになるのか。

(回答) 正確な試算は出てないが、全体としては増額となる見込みです。

社会教育課

(委員) 日本遺産を守る会とはどのような団体で、どんな活動をして、どのように運営されているのか。

(回答) 三徳山を守る会が母体で、投入堂や陣所等を守っていく、PRしていくことなどの活動をしている。運営は国、町の補助で賄っている。



国民健康保険証見本

産業民生常任委員会

補助金で購入した機具の 適正管理指導を

農林課

がんばる地域プラン事業 (890万円)

(委員) がんばる地域プラン事業で購入した大豆コンバイン整備事業は、新規で購入したもののか。グリーンサービスの機具について、きちんと管理を行うよう指導をしてもらいたい。

(回答) 大豆作付面積が増え、グリーンサービスが新規購入するものに対して1/2補助して購入したものです。

三朝スタイルの担い手農家 育成事業 (324万円)

(委員) 担い手協議会の条件に年齢条件はあるのか。法人も協議会の対象になるのか。

(回答) 特に年齢条件は設けていないが、1ヘクタール以上の経営面積があり農地中山間管理機構の担い手名簿に記載されていることなどが条件になっており、積極的に入っていただきたいと思っている。

建設水道課

県営林道開設事業負担金 (1,718万円)

(委員) 県営林道開設事業完了後は、管理は県か町かどちらが行うのか。相当な距離だが、けっこうな管理費用が見込まれる。県には要望しないのか。

(回答) 管理は町がすることになっています。これは最初の協定により、県が施工して町が管理する内容で締結しています。

企画観光課

多目的駐車場管理費 (98万円)

(委員) 多目的駐車場について無料駐車台数が一日約50台利用している計算になるが。

(回答) 無料分とは、駐車してから最初の1時間は、料金を無料としており、その間に利用があった駐車台数を記載している。

台中市友好訪問団受け入れ事業 (33万円)

(委員) 台湾との交流を行っている姿を町民に見える形で実施してほしい。台湾交流や芸能に触れる良い機会であるため、町民を対象に芸能を披露し親しんでもらうことも必要であると感じている。

(回答) ご指摘のとおりであると感じている。今後、このような事業を行う際にはご指摘の内容を念頭において事業を計画したい。



林道波関俵原線

高齢者

問 高齢者等の運転免許証の自主返納者に町として積極的に支援すべき

答 高齢者が住み慣れた地域で安全に暮らす為、今後も事業内容の検討をしていく

○運転免許証の自主返納の現状

中信

「運転免許証の自主返納」とは、加齢に伴う身体機能や認知機能の低下により、自動車の運転に不安を感じている高齢運転者や、その高齢運転者が係わる悲惨な交通事故を心配しているご家族等の思いから、運転免許証を自主的に返納出来るよう道路交通法が一部改正された。

平成14年6月1日から自主返納された希望者には公的身分証明書として生涯使用可能の運転経歴証明書が発行される支援制度がスタート。町内の75歳以上の自主返納者の割合は7%。



(運転経歴証明書)

○運転免許証自主返納の奨励

中信

自主返納は高齢者ドライバーにとって避けることが出来ない問題であり、ご家族にとって交通事故に対する不安解消にはなるが、日常生活等送迎役を担う事になり負担になる。又自由に出掛けることが出来なくなり、生き甲斐が持てなくなると聞く。自主返納を奨励することは町として有益、町として支援・サポートを積極的に展開してはどうか。

町長

自動車は日々の暮らしを支えているので運転する機会がなくなることで、引きこもりの要因

や家族の負担が増して行く。町民の皆様に道路交通法の一部改正の内容を広報し返納に対する動機付けを行っていきたい。町民の交通安全・安心に資するための高齢者交通費助成の制度を開始。

○自主返納者への支援サポート制度の導入をすべき

中信

現在の「タクシー利用助成」の拡充として、自主返納者に特化した恩典を創設するか、県内全域で実施されている「タクシー・ハイヤー協会」のタクシー運賃の1割引に、さらに三朝町独自の上乘せ助成をしてはどうか。

町長

平成26年度から高齢者の外出支援としてタクシー助成事業(75歳以上の者のみの世帯又独居、介護認定を受けている方)を開始。年間最高24万円の助成。金銭的、利用しやすい制度と思っている。平成28年度から日ノ丸バス6ヶ月の定期券「架け橋」の70歳以上の助成。高齢者交通費助成の制度の周知に努めていく。

中信

山間部ではバス停から離れた集落が点在しており、このようなバス利用が困難な地域の問題解消に向け、福祉分野も含めた政策を検討する必要があると思う。

○高齢者交通費助成制度の年齢は

中信

三朝町ではタクシー助成は75歳以上だが、70歳からの検討は出来ないか。



中信貴美代議員

町長

後期高齢者の75歳以上を基準としている。日ノ丸バスの定期「架け橋」は70歳以上の設定となっているのにあわせている。

○廃車手数料の一部助成は

中信

免許を返納するとマイカーが不要になり、廃車手続きが発生する事も想定。廃車手数料の一部助成の検討はどうか。

町長

中部地区では運転免許証の自主返納者を対象に無料で引き取る業者も出てきている。その他特典もある。

○三朝町独自の支援策の充実を

中信

自主返納者が平成28年度は7%ですが年々増加傾向にある。自主返納が出来る支援策の充実を。又支援の内容を知らない方がある。

町長

高齢者交通費助成事業の周知徹底をしていきたいと思っている。

中信

100歳元氣な三朝町として本提案が実施されることを信じている。

行政システムの 変革

問 行動計画通りにできないのか

答 協議や検討を加えていく

○受益者負担をどう考えているか

山田

自立に向けて、自らの行政システムの変革に取り組むことが、平成17年から26年の第1次、27年から31年の5年間の第2次計画で示された。

その中で2点について伺う。

まず施設の利用料について、平成28年度のいくつかの収支決算を見ると（委託料も町から見ればコストである）、スポーツセンターは収入100万円、支出650万円、野球場は収入90万円、支出300万円、トレセンは収入20万円、支出100万円、健康むらは収入600万円、支出1,500万円となっている。

適正な受益者負担の在り方をどう考えているか。

町長

政策的な取り組みによって、税の負担と利用者の負担のバランスが必要。

山田

2次計画には、サービスのコストを明らかにし、負担を見直すということが2年半前に明言されている。料というものは数字を伴う。だから数字を決めなくてはいけない。

補助率3分の2で試算してみた。

スポセンは2.5倍、野球場は1.5倍、トレセンは2倍、健康むらは金額が多いので6割補助とすると1.3倍の料が必要となる。

町長

内部でしっかりと検討を加える。

○民間委託が進まないが

山田

次に民間委託である。具体的には図書館と給食センターだが、図書館が民営化になれば開館日数や開館時間が増える。その他、アイデアで図書館機能をアップさせているところもある。町民の福祉の向上に繋がる。

町長

再度教育委員会で検討を加えていただきたい。

山田

調理センターも12年間民間委託を検討し、受け皿として民間組織の設立を促進するとあったが、運営を民間に任せられない理由があるのか。

町長

教育長から一言申し上げる。

教育長

県内19市町村では10自治体が民間委託をしている。

センターが給食だけであれば



みささ図書館



山田道治議員

委託はスムーズにいくが、調理全体の設置目的からすると、今現在民間ということには結論に至っていない。

山田

やらない理由を淡々と述べられた。町長はどう思うか。

町長

協議してまいりたい。

山田

分権時代に合併しなかった三朝町、そして人口減が見込まれることを考えると、行政システムの変革は必要だと町民の方にも分かっていただけだと思うが。

町長

その通りだと思う。



調理センター

福祉

問 バリアフリー化は十分か

答 公共施設の見直しと適正配置を検討

○行動範囲に制限

池田

車椅子、老人車が必需品となっている方々の行動範囲に制限があるような施設ではバリアフリーは決して十分であると言えないと思うが。

町長

いろいろな障がいをお持ちの方々に不便を感じさせない為の整備を順次進めているが、今一度点検して、安全で安心して暮らせる町づくりをしたい。

○思いやり量

池田

国家や地域に於ける文明度・文化度は、社会的弱者への「思いやり量」であると考えているが。

○心のバリアフリー化

町長

バリアフリー化により移動の利便性、安全性の向上を図り、身体負担を軽減するのはもちろんのこと、差別や偏見をなくし、障がい者の気持ちに寄り添って、サ



池田雅俊議員

ポートする心のバリアフリーも重要と考え、公共施設の見直しと適正配置を検討していきたい。

教育

問 三朝町教育の方向性

答 町長) 地域住民との学習体験や交流活動

答 教育長) 学習進度に合わせた弱点克服への取り組み

○小学校統合は？

池田

教育委員会が打ち出した教育大綱から「平成30年までに統合」の文言削除というのが町民として、不安の声が多く上がっているが。

町長

少人数学級の解消、情報化やグローバル化への対応を考えると、統合は必要であると考えている。町民に丁寧な説明し、理解を求め早急に進めていきたい。

教育長

8月下旬に三朝町義務教育の将来像のリーフレットを配布し、統合は必須課題と考え、早期実現に向け一層加速し、推進していきたい。

○学力向上と進路指導

池田

高校入試に関して、今後どのように学力を向上させ、生徒、保護者の希望に沿える体制を構築していくのか。

教育長

生徒、保護者の気持ちを尊重し、悔いの残らない受験、入試となるようにしたい。また、学力についても教職員のスキルアップを図り、アクティブラーニング等の活用を視野に入れて対応し学力アップを目指し、そして、入試発表後の生徒へのケアについても中学校に強く指導していきたい。

○第2の教育現場

池田

西小学童クラブの混雑ぶりは目に余るものがある。ただ単に児童を預かりおくだけの託児所的なものから第2の教育現場としての機能を持たせ、保護者からも支持される施設への脱却を図るべきではないか。

○地域住民等の参画

町長

学童保育に関して、放課後子ども総合プラン三朝町行動計画編を作成中で、地域住民等の参画を得て、学習体験、交流活動などを行う事業を検討している。

学校教育

問 三朝町義務教育の分かりやすい将来像を

答 いろいろな意見を得ながら具体の姿を

○全戸配布の「三朝町義務教育の将来像」の反応は

山口

この度、教育委員会が全戸配布した「三朝町義務教育の将来像」に対する町民の反応は。

○色々な反応が寄せられており、意見を参考に第2弾を

教育長

良くまとめられ、良いものを作ってくれたとの意見、分かりにくい表現があり、少し違うとの意見も聞いている。

今般配布の将来像は現在の状況をまとめたもので、色々な意見を伺いながら、もう少し具体性を持った第2弾を示したい。

○将来像に対するパブリックコメントを求めるのか

山口

色々な意見を聞きながらまとめるとのことだが、パブリックコメントを求めるといふことか。

そのための流れを作る必要はないのか。

○義務教育に関して寄せられた意見を教育委員会で検討する

教育長

改めてパブリックコメントを得るつもりはないが、教育内容、義務教育学校等について寄せられた意見を慎重審議、教育委員会の案をまとめた。



三朝町義務教育の将来像

○義務教育将来像は幹の部分、枝葉の具体的な姿を示す必要がある。具体例を用いて将来像を分かりやすく

山口

具体例の多用は誤解を招くとの懸念はあるが、具体例がなければ町民に分かり難いのでは。

例えば小学校統合で不要となる予算でALTを増員し、英語教育を強力に押し進めるなどの具体例を示す必要がある。

○これまでの三朝町義務教育とこれからの三朝町義務教育の比較材料も必要だ

山口

平成27年に策定された教育大綱と今回示された将来像では教育内容がどのように変わるのか、変わらない部分もあるのか、比較できる材料を提供することも必要ではないか。

○具体例に示しながら進めていきたい

教育長

具体の姿を示すことは指摘の通りである。

将来像の大命題は小学校統合であり、ぶれることなく進めたい。

次に、義務教育学校や実際の教育なども加味しながら考えていきたい。

全国で進んでいるコミュニティースクール（学校運営協議会）についても検討課題と考えている。

○スケジュールを見ると義務教育学校や小中一貫教育の研究が遅いのではないかと

山口

将来像で示された今後のスケジュールでは、基本設計が義務教育学校の研究中に行われるようになっているが、基本設計に義務教育学校や小中一貫教育のことが反映されるべきではないか。



山口 博議員

○義務教育学校の有用性等を全国的な動向を見ながら検討・研究を

教育長

将来像のスケジュールは現段階でのもの。場合によっては研究を早く終わらなければならないことも。

全国的な動向の中で義務教育学校の有用性が評価されれば三朝町でも取り組むことになる。

もう少し検討、研究をしたい。

○小学校統合は喫緊の課題、スピード感が必要だ

山口

スケジュール通りに進めるのではなく、一日も早く進める考えが必要ではないか。

熟慮も必要だが、スピード感を持ちながら進めるべきでは。

子どもたちが三朝に帰って来たいような素晴らしい教育の展開を期待する。

○外国との交流、日本遺産などの宝を生かして教育

教育長

小中学生がスポーツや文化面で全国大会で活躍し、近年に無い成績を収めている。

台湾、フランスとの交流で国際感覚、多様なものの見方の育成や日本遺産等を生かしたふるさと教育を行い三朝で育って良かった、三朝に帰って来たいよう子どもたちを育てたい。

命の笛の普及

問 「イザッ」というとき、助けや応援を呼ぶ「命の笛」を普及させたい

答 消防団員と協力して地域や集落の勉強会で紹介していきたい

○まずは、弱い立場の方へ

清水

障がい者の方、一人暮らしの高齢者の皆様に、お配りしたらどうか？

町長

この笛を持っていることは、災害、火災に備えて、自ら命を

守るために準備できること。消防団員を通してご紹介していきたい。

清水

この「命の笛」は「ウインドストームホイッスル」と言います。役場で実費で斡旋できないか？

町長

危機管理課のほうで検討させ



清水成真議員

.....
ていただきたい。

ヘルプマークの導入

問 「ヘルプマーク」の町民への認知は、日本遺産の町として重要だと考える

答 普及・啓発に努めていきたい

○いち早く導入すべき

清水

今日も、明日もたくさんの観光客が来られる。旅館組合や観光協会などには、導入について

早くお知らせすべきではないか。

町長

おっしゃるとおり。関係団体と良く打ち合わせをして周知に努めてまいりたい。町民の皆様には「町報」で周知をしていきたい。

※ヘルプマークとは、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、東京都が作成したマークです。

三朝の目玉イベント

問 三朝町の多くの林道を活用し「ツール・ド・フランス」の様な自転車競技が出来ないか

答 関係先に対して協議し、県のオリンピック関係の強化を担当しているところとも話し合ってみたい

○ツール・ド・フランスのよ
うな自転車競技

清水

三朝町の広大な林道を使って、フランスの自転車競技である「ツール・ド・フランス」のような、又は「24時間レース」のようなものは、出来ないだろうか。

町長

林道の活用については、常々思っていたところ。本町の林道は、その標高差によって非常に景色が良いところがたくさんありますし、林道を使ったイベントの後には三朝温泉でゆっくり

りと疲れを癒すことができる。といった、本町ならではの強みがあると思っている。

○イベントとしての魅力

清水

フランスの自転車競技の「ツール・ド・フランス」は、日本でもその雰囲気そのまま再現したイベントが今年、埼玉で開催されます。

町長

「ツール・ド・フランス」については、世界中から自転車愛好者が集まってくる大イベントに

なっている。決して速さを競うものばかりではないようで、1つの村を通り、その村を通ることで、通ることが決まった村は、もう1年も2年も前からどのように受け入れをするかということに、一生懸命情熱を燃やすそう。このようなことも含めて検討してまいりたい。

○フランスとの交流も進んでいる

清水

フランスとの交流もずいぶん進んでいる。多くの観光客が呼べるイベントを是非とも実現していただきたい。

町長

関係先に対して協議し、県のオリンピック関係の強化を担当しているところとも話し合ってみたい。

町政総括

問 20年間を振り返っての評価は

答 三朝町の発展のために誠心誠意努力

福田

吉田町政の20年を終えるに当たって、ご自分でどう評価されるのか伺う。

町長

5期20年にわたり、私は、行ってみたい町、住み続けたい町、生き生きと暮らせる町の実現を目指し、三朝町の発展のために誠心誠意努力してまいった。

温泉病院と岡山医大の存続問題。

下谷、福田の旧中部ダム予定地域の振興事業の推進。ウラン残土問題の解決。三朝町の単独行政の決断。

三朝バイパスの開通。林道南三朝線、波関俵原線の開通。防災行政無線のデジタル化、公共施設の耐震改修など安全、安心につながる整備を推進した。

観光産業についても、開湯850年祭、三徳山の国立公園への編入、日本遺産へ認定など今後の魅力発信



福田茂樹議員

.....
に向けて大きな一歩を踏み出すことが出来た。

小学校

問 3校の小学校を1日も早く統合し、新校舎を

答 1日も早く統合し、環境整備をしなければならない

福田

小学校3校を一刻も早く統合し、大瀬に新築の校舎を建てるべき。

町長

小学校統合につきましては、1日も早く統合し、子どもたちが安心し

て文武に励んでいただける環境整備をしていかねばならない。あわせて、次代を担う子どもたちにしっかりした投資を行うときだと思っている。

保育園

問 三朝町は現体制を維持すべき

答 今後も町の責務として、保育所運営をする

福田

みささこども園、賀茂保育園、竹田保育園を三朝町の責務として、守っていくべき。

町長

みささこども園は、新しい子育て支援の拠点施設としての機能も付加されており、その体制について、引き続き検討をしていきたい。

竹田保育園は、地域の皆様のご協力もあり、充実した保育環境で保育が行われている。公営で運営をしながら、今後の状況を検証したい。

賀茂保育園については、平成20年から、社会福祉法人福生会に運営を行っていただいている。今後も、指定管理者制度を活用し、町の責務として多様な保育への対応、保育の量の確保と充実に努めていきたい。

ブランナルみささ

問 指定管理者の運営について、三朝町の判断は

答 単に売り上げだけでなく、三朝温泉や地域、町民、地元事業者等への連携が必要

福田

この4月から指定管理者制度で、運営をまかせているが、今後、その運営評価をどう蓄積していくのか。

町長

ブランナルみささは、三朝温泉唯一の公共の宿として、コンベンション機能を生かした地域振興や地域食材の仕入れ、雇用などを通じ

た地域貢献など、民間施設にはない存在意義を発揮してきた。

しかしながら、思うように効果を上げることができず、将来的な売却も視野に入れながら、当面は指定管理者制度による運営に移行することになった。

今後は、株式会社ジーライオンのもとで、三朝温泉がいかによばらしいかということ、売り出していく体制をお持ちだと、認識している。

田舎茶屋 ^{よりみち} 縁満と共に 十年を迎え

田舎茶屋縁満

代表 松原 春子



先般「議会だより」掲載の依頼を受けました。議会については時折ケーブルTV・「議会だより」で内容を知る程度で、誠に勉強不足を感じています。

縁あって平成19年7月31日に「とちの木工房」跡に「縁満」が誕生しました。JA女性会三朝支所の有志が集まり運営しています。店では、古くから大切に育てられてきた神倉大豆を使った料理を提供しています。

三朝神倉大豆は商品化され神シリーズとして、1「神のはな」(豆腐)、2「神のしずく」(豆乳)、3「神のつぶ」(納豆)、4「神のつぼみ」(水煮大豆)、5「神の笑み」(どら焼き)の5品が販売されています。食べられると大豆のおいしさに驚かれます。大豆は「栄養の宝庫」と言っても過言ではありません。

私達は、四季折々の山里の旬の食材を使い、「作る人」「食べる人」が、三朝の豊かな自然を感じ、「豊かな心」で召し上がっていただける様おもてなしをしていきたいと思っています。十年を迎え一区切り、初心にかえりメンバー一同喜んでいただける店を目指したいと思います。三朝町の元気発信の一助になれば幸いです。



おわりに

ちよひつひつ

昨年十月に本町においても地震による大きな被害を受けたが、災害はすべての地域にとって現実のリスクだ！しかし、それぞれの地域には、これまでの積み重ねの上に、防災へのハード、ソフト、住民意識がある。直ちに最先端の地区防災計画を取り入れてもすぐに形骸化するのではないか。多少時間はかかっても住民の対話、計画作成、訓練、評価、改良を重ねる地区防災マネジメントを確立することが重要である。

災害は確かに災いではあるが、地域を抜本的に変える貴重な機会である。災害後の復興を見据えた地区防災マネジメントによって、住民は、人とつながり、郷土を愛し、災害を克服するはず。

(平井満博記)

発行責任者

議長 福田 茂樹

編集

議会広報常任委員会

委員長 藤井 克孝

副委員長 中信貴美代

委員 山田 道治

委員 平井 満博

委員 池田 雅俊